

令 和 4 年 3 月 9 日 地 震 調 査 研 究 推 進 本 部 地 震 調 査 委 員 会
---

## 2022年の主な地震活動の評価（案）

### A. 父島近海の地震活動

**【2022年1月4日、M6.1・最大震度5強】**

- 1月4日に父島近海の深さ約60km（CMT解による）でマグニチュード(M)6.1の地震が発生した。この地震の発震機構は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で、太平洋プレート内部で発生した地震である。この地震の震源付近では、その後31日までに、震度1以上を観測する地震が13回発生した。

GNSS観測の結果によると、今回の地震に伴う有意な地殻変動は観測されていない。

- ・1月4日 父島近海の地震
- ・父島近海の地震前後のGNSS観測データ

注：GNSSとは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般をしめす呼称である。

### B. 日向灘の地震活動

**【2022年1月22日、M6.6・最大震度5強】**

- 1月22日に日向灘の深さ約45kmでマグニチュード(M)6.6の地震が発生した。この地震の発震機構はフィリピン海プレートの沈み込む方向に張力軸を持つ型で、フィリピン海プレート内部で発生した地震である。その後、M6.6の地震の震源を含む北北東－南南西方向約15kmに延びる領域では、2月3日までに震度1以上を観測する地震が42回、このうち震度3以上を観測する地震が5回発生した。

今回の地震の発震機構と地震活動の分布、地震波の解析結果から推定される震源断層は、北北東－南南西方向の概ね鉛直な断層である。

GNSS観測の結果によると、今回の地震に伴って、大分県佐伯（さいき）市の宇目（うめ）観測点や米水津（よのうづ）観測点が水平方向にわずかな移動、及び宮崎県北川町の北川観測点や大分県佐伯市の大分佐伯観測点が1cm程度の沈降などの地殻変動が、大分県や宮崎県北部を中心に観測された。

- ・1月22日 日向灘の地震
- ・日向灘の地震前後のGNSS観測データ

注：GNSSとは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般をしめす呼称である。

各地震活動の評価は、発生後、令和4年2月（の定例の地震調査委員会）までに公表された評価内容を取りまとめたものです。これ以降の公表状況については、最新の評価結果（毎月の地震活動の評価）をご覧ください。

なお、最近1年間に発生した地震活動の評価は、今後のとりまとめ作業により内容更新される可能性があります。